「ＮＰＯパートナーシップ制度」2022 年度の取組み

2022 年度は、「ポストコロナ時代のＮＰＯへの支援活動～人が人を支えるつながりづくり～」を主なテーマとし、近畿2府4県のＮＰＯ支援センターと連携して取組みを進めました。また、「居場所づくりへの支援活動」や「防災・減災の取組み」も、継続して行いました。

2022 年度の取組みは以下の通りです。（のべ 666 名参加）

支援センター	開催日	取組み	内容	参加人数
しがＮＰＯセンター	6/7	災害からの住居の再建に向けて（災害支援市民ネット）【研究会】	住居の再建に向けてどうすればいいのかを技術的視点を交えて考える。	25
	8/5	防災・災害支援に活かす女性の視点（災害支援市民ネット）【研究会】	災害時の人権侵害の防止、復興に向けての男女共同参画の視点など、「防災対策、災害支援に活かす女性の視点」について考える。	22
	10/21	災害が起こった場合の企業等との関係を考える（災害支援市民ネット）【研究会】	自治体における災害時応援協定の締結の概要と、協定締結している地元企業の対応と、地域との関わりを考える。	11
	12/6	災害ボラセン運営の見える化（災害支援市民ネット）【研究会】	多様な個人・団体が力を合わせ、災害ボラセンを立ち上げ、運営力を高めるために何ができるか考える。	18
奈良ストップ温暖化の会	9/4	知りたい、会いたい、学びたい、「匠の環、それから」①【セミナー】	奈良県内で環境保全活動に取り組む団体の活動拠点を訪ね、取組みをより深く知り、つながりを深め、連携を広げる。	30
	9/18	知りたい、会いたい、学びたい、「匠の環、それから」②【セミナー】		30
きょうとＮＰＯセンター	10/1	ＤＶ被害者支援の現状と課題－DV 被害者の安心・安全な居場所づくりをめざして【ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ】（オンライン）	DV 被害者支援の現状を知るとともに、DV 被害者にとって安心して生活できる居場所づくりと再起に関する多様な支援のあり方を考える。	85
	10/16	京都府南部地域豪雨災害からの 10 年～その当時と再生～【ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ】（ハイブリッド）	平成 24 年 8 月の京都府南部地域豪雨災害を振り返り、水害に対する備えや水害発生時における対策の普及と啓発、記憶の継承をめざす。	73
大阪ボランティア協会	7/22	災害時の中間支援組織の役割（おおさか災害支援ネットワーク）【学習会】（ハイブリッド）	大阪府内の災害支援に係る取組みの状況、災害ボランティアとの連携について考察する。	64
	1/23	身近なエリアでのネットワーク構築に向けて（おおさか災害支援ネットワーク）【学習会】	参加団体の活動内容や特徴を知ることを目的に、災害が起こった時に活用できる分野別テーマに関する取組みをグループワークで共有する。	35
わかやまＮＰＯセンター	9/11	人と人のつながりが実感できる居場所づくり【シンポジウム】（ハイブリッド）	孤独・孤立対策、命を守る活動の拠点として、多様な年齢層を守る居場所としての活動の可能性を探る。	42

シンフォニー	9/17	ソーシャルネットワーキングシンポジウム【ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ】（ハイブリッド）	持続可能な地域活動を広めていくために、ソーシャルネットワーキングづくりを支援する。	22
	11/5	国際連帯を推進する多国籍会議【セミナー】(ハイブリッド)	都市を自由に移動し、国際的に協働する流れを推進し、地域で多文化共生に取り組む団体との連携を進める。	38
ＣＳ神戸	8/21	「継続、発展する都市型居場所を目指して」（第 7 回居場所サミット in 神戸）【報告交流会】（ハイブリッド）	コロナ禍でも継続・発展する居場所に向けて、ワークブックで現状を見える化し、次のステップにつなげる。	111
全体セミナー	2/11	市民活動の役割～人が人を支えるつながりづくり～を考える	市民活動の実践者・中間支援組織が多世代にわたる担い手の掘り起こしや新しい参加の仕組みの具体的な方策について考える。	60

DV被害者支援の現状と課題－DV被害者の安心・安全な居場所づくりをめざして（きょうとNPOセンター）

「継続、発展する都市型居場所を目指して」（第 7 回居場所サミット in 神戸）（CS神戸）

市民活動の役割～人が人を支えるつながりづくり～を考える（全体セミナー）

以 上